



たからざか



令和5年
3月発行
No.76

良質で高度な医療を提供し
住民に愛される病院を目指します。

大牟田市宝坂町2丁目19番地1

TEL 0944-53-1061

HP <https://www.ghp.omuta.fukuoka.jp/>



健診センター

健康とは本人のみならず、ご家族にとってもかけがえのない大切なものです。健診センターでは、職場検診、がん検診、住民健診、特定健康診査、日帰り人間ドック、特化物健診等の特殊健康診断などを行い、地域の皆様の健康づくりを応援していきます。決まった項目の他に、ご希望に応じて健康診断セットやオプション検査を追加できるように準備しています。お気軽にご相談ください。



<セット健診のご紹介>

◎脳ドック 34,380円

血液検査(脂質・肝機能・血糖)、
頭部MRI・MRA、頸動脈エコー、
ABI/CAVI

◎肺ドック 19,220円

低線量胸部CT、肺機能検査

◎レディース検診 34,270円

血液検査(貧血・甲状腺・腫瘍マーカー)、
骨密度検査、子宮頸がん検診、
マンモグラフィ、乳腺エコー

<オプション検査のご紹介>

◎ピロリ菌検査:胃十二指腸潰瘍・胃炎・
胃がんの原因となるピロリ菌を調べます。

● ヘリコバクターピロリ抗体 880円
血液検査でピロリ菌の有無を調べます。

● 尿素呼気試験(ピロニック) 3,690円
ピロリ菌除菌後の再感染を調べる場合に
効果的です。

◎アレルギー検査:16歳以上の方を対象に、
食品の表示義務のある「特定原材料」に
関する項目を含む39項目のアレルゲンに
ついて調べます。 16,830円



大牟田市で行っている特定健診・各種がん検診(肺がん・
大腸がん・乳がん・子宮がん)も健診センターにて実施してあり
ます。当院の外来受診に合わせてお受けいただける場合もあり
ますので、お気軽にご相談ください。

また、平日お仕事等で忙しい方のために、年1回、日曜日の
乳がん検診も行ってあります。詳しくは健診センターまでお問
い合わせください。



麻酔とは

麻醉科 部長 亀山 直光
かめ やま なお みつ



“麻酔とは？”なかなかイメージするのは難しいのではないかと思います。それでも頭に浮かぶことは、手術中に「痛みを感じなくすること」や、「意識がなくなること」ではないでしょうか？

通常の全身麻酔では意識は失くなり、痛みも感じません。実際には、麻酔を大きく分けると“意識がなくなる”全身麻酔と“意識がなくならない”局所麻酔に分けられます。また、全身麻酔でも局所麻酔でも手術を行えるように数種類の薬を一緒に用いて麻酔をしています。

世界での全身麻酔の始まりは1846年（19世紀半ば）アメリカでのエーテルによる麻酔と言われています。しかし最初に全身麻酔で外科手術を行い成功したのは日本人の華岡青洲で、1806年と記録が残っており、世界初の全身麻酔による外科手術と言われています。日本は江戸時代末、黒船来航の前です。

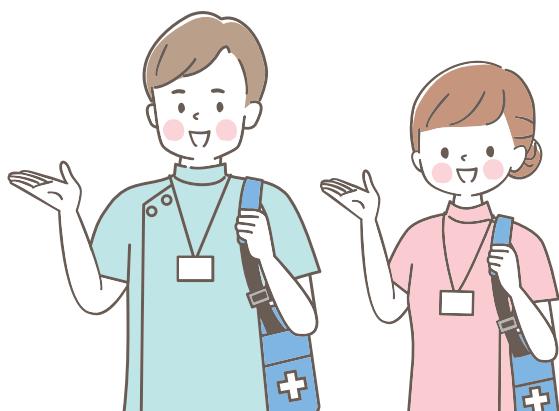


局所麻酔の大きな発展は19世紀後半ですが、さかのぼると16世紀のインカ文明においてのコカノキになります。その後発展し、末梢神経（神経の枝）を麻痺させて痛みを取ることが出来るようになります。例えば歯医者さんでの麻酔が局所麻酔としてわかりやすいかと思います。

麻酔の考え方が確立する前にも世界中でいろいろな考えのもと手術が行われていました。しかし、手術に伴う痛みやストレスは手術後の回復にも大きな影響を与えると考えられるようになりました。麻酔科医はその痛みやストレスから患者さんを守るのが仕事です。



医学の進歩とともに呼吸(肺)や循環(心臓)などの体の機能の理解が深まり、モニター類(血圧計、心電図、経皮的酸素飽和度モニター等)が発展しました。“痛み”に対する考え方も変わっていき(麻酔がない時は我慢してもらっていた)、薬が発展しました。更に医療器具の発展も加わり麻酔の考え方も進歩してきました。



我々、麻酔科医は医学の発展とともに生まれたこれらの機器、器具や薬を用い、患者さんに安全かつ安心の出来る周術期を送れるよう日々麻酔を行っています。

手術前には診察し、お話を聞き、最善最適の麻酔法を計画します。手術中は全身状態を維持する事が最大の目的になります。手術後も特に痛みなど、ストレスを出来るだけ少なくなるように心がけて意識の回復、呼吸、循環の安定に努めます。

現代の“麻酔”とは患者さんの手術前から手術中、手術後までの全身を診ることになります。

これで少しでも麻酔に対する不安が軽くなる一助になりましたら幸いです。

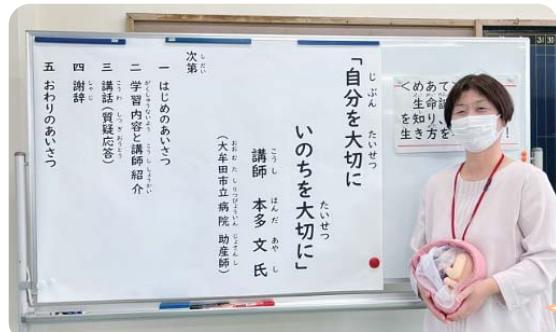


令和5年度 大牟田市立病院出前講座のご案内

当院では、職員が専門性を活かした出前講座を実施しています。令和5年度は次のような講座を行います。定番の人気講座から新しい講座も増えてさらに充実しました。多少の内容アレンジも可能です。是非、職場の会議や地域の集まりにご活用ください。ご関心のある方は大牟田市HPの「市役所職員出前講座」をご覧いただぐか、当院総務課までお問い合わせください。

講 座 名		内 容
1	症状がないから怖い…高血圧・糖尿病・脂質異常症	放置するとやっかいな生活習慣病、早めに上手に対処しましょう。
2	糖尿病の基礎知識	「糖尿病ってどんな病気？診断されたらどうなる？」など糖尿病について基本のことから学びましょう。
3	助産師が伝える「いのちの話」	いのちの尊さ、「性」についてのお話です。いのちのつながりを考えてみませんか。
4	脱水症について	脱水になる前の水分補給や対策を具体的に分かりやすく、集中ケア認定看護師がお伝えします。
5	一次救命処置を学ぼう	目の前で人が倒れた！その時に適切な対応ができますか？救急車が到着するまでの間に必要な処置を救急看護認定看護師がお話しします。
新 6	もし手術になったら？～健康で居続けるために今できること～	安全に手術を受けていただくために今できることは何か、一緒に考えていきましょう。
新 7	知ってほしい腎臓のこと～慢性腎臓病から腎臓を守るコツ～	あなたの腎臓、大丈夫？腎臓を守るコツを知り健康な生活を！
8	医療用麻薬の誤解	医療用の麻薬の適切な使用管理と副作用対策について薬剤師がお話しします。
9	糖尿病検査のあれこれ	糖尿病とその合併症に関連した検査について臨床検査技師がお話しします。
10	あなたの骨は大丈夫？骨粗しょう症の話	健康な骨を維持すると健康寿命が伸びてきます。「知っておいて損はない！」話を診療放射線技師がお伝えいたします。
新 11	身边にある放射線のお話	身边にある放射線と、レントゲンに代表される医療に使われる放射線のことを診療放射線技師がお話しします。
12	肩こり予防	肩こりの原因と家庭でできる肩まわりをほぐす肩こり予防のストレッチを理学療法士が紹介します。
13	転倒予防教室	転倒による骨折・寝たきりを防ぐための体力づくりの方法を理学療法士が指導します。
14	気になりませんか？のみこみのこと	年齢とともにのみこむ機能も低下してくるため、長く安全に食べていくための食べ方・体操などを言語聴覚士が指導します。
15	生活習慣病を予防する運動を学ぼう	生活習慣を見直すことで脳や心臓の病気を防げます。運動も取り入れて効果をあげましょう。理学療法士がお話しします。
16	認知症予防のためのリハビリ	認知症予防や症状が進まないための簡単なリハビリと生活のコツを理学療法士がお伝えします。
17	災害時にも役立つエコノミークラス症候群の予防	エコノミークラス症候群の予防方法について理学療法士が説明します。
18	“がん”になった時のリハビリ	がんを患った時に取り組まれるリハビリについて理学療法士がお話しします。
19	出来ていますか？自宅での安全な食べさせ方	自宅で食事介助をする際の介助のコツを言語聴覚士がお伝えします。
20	フレイル予防～元気に暮らせる時間を増やすためのお話～	いつまでも健康でありたい方、フレイル（虚弱）チェックをしませんか？
21	認知症になっても大丈夫？	人生100年時代。「もしかして認知症？」「認知症になったらどうしよう？」そんな不安はありませんか？認知症について認知症コーディネーター・老人介護専門看護師がお話しします。
22	「あなたの医療費自己負担はいくらになる？」	「医療費自己負担はいくらかかるの？」「負担軽減の方法はないの？」などの疑問や質問にお答えします。
23	知っておきたい感染対策	感染症から身を守るために基本的な感染対策をしっかり身につけましょう。

「あなたの骨は大丈夫？骨粗しょう症の話」の様子



「助産師が伝える「いのちの話」の様子